

科目分類	医療のコラボレーション教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
18037	2	前期	必修	2	30
授業科目名 (英文)	公衆衛生学 (Public Health)				
担当教員名	高木 晴良				
授業の概要及び到達目標					
<p>公衆衛生の理念と目的、集団における健康問題に関する予防医学、社会医学の役割と実際について学修する。授業内容にはわが国の保健統計指標の動向や意義、疾病予防、健康の維持増進、健康管理、産業保健、環境衛生に関する事項のほか、食品衛生や感染症の予防など衛生学の基礎知識に関する内容も含む。また、環境と生活者の健康の観点から、環境汚染及び職業性疾患とその対策などを取り上げる。</p>					
準備学習等					
<p>予習 (30分) テキストの該当部分を良く読み、自分でまとめるなどして、ある程度理解しておくこと。</p> <p>講義 (90分) テキストに出てくるキーワードの確認、教科書に追加すべき重要ポイントの説明をすることで、必要事項は各自メモすること。なお、疑問点等がある場合には、毎回行うミニレポートに記載すれば、個別にメールで回答する。</p> <p>復習 (60分) 講義で新しく得た情報を、なるべくその日のうちにまとめて確認しておくこと。 その週に学習する「地域看護学」の講義内容とオーバーラップしているので、予習・復習になるはずである。</p>					
成績評価の方法	毎回講義時に行うミニレポート (3点×15回) + 期末テスト (55点) (無断欠席は減点されるので、事前に届け出ること)				
テキスト	「コンパクト公衆衛生学 (第6版)」 (松浦賢長・苅田香苗・小林廉毅 編：朝倉書店)				
参考図書	「国民衛生の動向」(厚生労働統計協会) 「図説 国民衛生の動向」(厚生労働統計協会)				
備考	<ul style="list-style-type: none"> 講義時のミニレポートによる質問の他に、直接メールによる質問も随時受け付けるので、予習・復習時でも不明な点があれば、気軽に連絡すること。 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。 				

授 業 計 画

第 1 回：公衆衛生の概念、健康の指標	(テキスト：p 2～)
第 2 回：疫学的方法	(テキスト：p 11～)
第 3 回：母子保健	(テキスト：p 70～)
第 4 回：学校保健	(テキスト：p 81～)
第 5 回：成人保健	(テキスト：p 111～)
第 6 回：産業保健	(テキスト：p 88～)
第 7 回：精神保健	(テキスト：p 94～)
第 8 回：感染症	(テキスト：p 49～)
第 9 回：地域保健活動（特に災害保健について）	(テキスト：p 112～)
第 10 回：食品保健と栄養	(テキスト：p 42～)
第 11 回：健康と環境	(テキスト：p 19～)
第 12 回：生活環境の保全	(テキスト：p 31～)
第 13 回：地域保健活動	(テキスト：p 64～)
第 14 回：医療の制度	(テキスト：p 130～)
第 15 回：まとめ	